



矢沢地域の自然保護を考える会 会員募集

「岩手県レッドデータブックAランクのゼニタナゴが生存する里山の環境を保全する活動です。」

ゼニタナゴの生存する里山の自然保護に関心のある方
環境実践教育に関心のある方 歓迎します。



会員の責務：

- ① 会費の納入
- ② 出来る範囲で、会主催の保全活動・環境実践教育・自然観察会等の運営
- ③ 出来る範囲で、交流・フォーラムの運営

募集対象者：18歳以上の人
年会費：個人会員 2千円
 団体賛助会員 1口から
 (1口 1万円)

会員の特典：

- ① 会が主催する保全活動・環境実践教育および、自然観察会への参加
- ② 会が管理する水辺での親水
- ③ 会員同士の交流・フォーラム参加

入会希望者は氏名・連絡先等を下記に連絡下さい。

1 会員登録事項

- ① 氏名
- ② 年齢
- ③ 住所
- ④ 電話・FAX番号
- ⑤ E-mail アドレス
- ⑥ その他：趣味、特技、専門分野等

2 連絡先

- ① 会長 中島 輝雄
電話・Fax 0198-31-2220
- ② 事務局 渡邊 政夫
電話 0198-23-3354
Fax 0198-22-7278

これまでの活動例

1 自然観察会：



親子自然観察会



観察会の成果発表会



小学生の自然観察会

3 保全活動



溜池堰堤の草刈



溜池を干して外来魚の駆除



キンラン
(絶滅危惧種II類)



ゼニタナゴ



イカリソウ



白タンポポ



白鳥



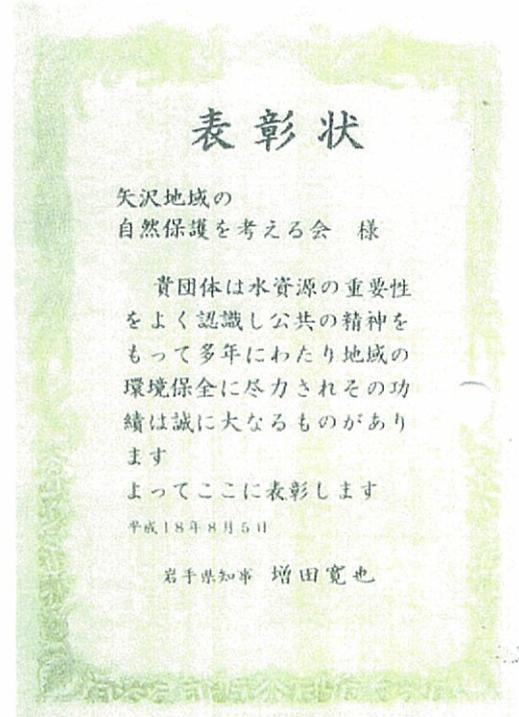
大森山山頂で 平均年齢 70 歳



親子で親水



← 外来魚駆除時の昼食風景



活動の評価

矢沢地域の自然保護を考える会とは？

矢沢地域の自然保護を考える会は、当初矢沢自治会が「矢沢地域の希少な生態系の保護活動をすすめて、環境にやさしい食糧の生産・販売及び消費など地域の活性化を図り、現在及び将来の住民生活環境の確保に資すること」を目的に設立した。

矢沢地域の自然を考える会は、矢沢地域の水辺環境の指標となる希少淡水魚（ゼニタナゴ等）の保全をテーマとし、豊かな水辺環境を地域の財産として未来の子供たちへ継承することをその狙いとしています。

現在は、自治会から離れ、この活動に賛同する会員を広く募り、活動を推進する中で、子供自然体験学習、環境保全実践教育、環境保全に関するセミナーの開催等の事業を、幅広く展開しています。

矢沢地域の自然保護を考える会・入会申請

私は貴会の活動に賛同しましたので、入会を申請いたします。

平成 年 月 日

矢沢地域の自然保護を考える会

会長 中島 輝雄 殿

住所 千

通信欄 (特技・趣味・専門分野・その他)

氏名

電話

Fax

E-mail

矢沢地域の自然保護を考える会のご案内

「岩手県レッドデータブックAランクの希少淡水魚が生育する矢沢地域の環境を保全する活動」

希少淡水魚の生育する矢沢の自然を後世に！



子供自然観察



なにがとれたかなー

どれが外国から来たものですか

希少生物生育溜池で



環境保全実践教育

ゼニタナゴ生育溜池周辺の間伐材でキャンプファイヤー



小学校生の自然教育

ゼニタナゴはこれ、ドジョウはそこ

矢沢地域の自然保護を考える会とは？

矢沢地域の自然保護を考える会は、矢沢自治会が「矢沢地域の希少な生態系の保護活動をすすめ、環境にやさしい食糧の生産・販売及び消費など地域の活性化を図り、現在及び将来の住民生活環境の確保に資すること」を目的に設立しました。

矢沢地域の自然を考える会は、矢沢地域の水辺環境の指標となる希少淡水魚の保全をテーマとし、豊かな水辺環境を地域の財産として未来の子供たちへ継承することをその狙いとしています。その為に、住民、学校、NPO、大学、行政など広範な協働関係で推進する「水辺環境を考えるワークショップ」の中心的役割を担い、岩手県レッドデータブックでAランクに分類されている「ゼニタナゴの自然生息地」の自然環境の維持保全活動を行います。

その活動を推進する中で、子供自然体験学習、環境保全実践教育、環境保全に関するセミナーの開催等の事業を、幅広く展開しています。

矢沢地域の自然保護を考える会は、矢沢自治会員、事業に賛同する個人・団体で構成されます。
事業に賛同される方は下記にご連絡下さい。

矢沢地域の自然保護を考える会 会長 中島 輝雄 電話 0198-31-2220
事務局 菊池 統一 電話 0198-31-2884

環境保全活動状況



飼育中のゼニタナゴ



溜池の草刈り作業



溜池の水を抜いて、ブラックバス・ブルーギルを捕獲

大きな鯉、大きな鮠、雷魚、大小様々なブラックバスとブルーギルを捕獲しましたが、小さな鯉、小さな鮠、タナゴ等はいませんでした。

問題：小さな魚はどこへ行ったのでしょうか？

答え：全部ブラックバスやブルーギルにたべられました。

小さな鯉、小さな鮠、タナゴが食べられないように、ブラックバスやブルーギルを溜池に放さないで下さい。

環境学習活動状況



生育溜池周辺の整備を終えて



小学生の環境教育



農業用水路の生物調査



自然観察の成果発表



講評：水を汚さないよう、ゴミを捨てないよう

環境保護実践教育、子供の環境体験学習、活動状況の視察の申込み先

会長 中島 輝雄
電話 0198-31-2220
事務局 菊池 統一
電話 0198-31-2884

矢沢地域の自然保護を考える会

事務局 〒025-0011 岩手県花巻市矢沢第11地割21-3 「菊池 統一」気付
電話・Fax 0198-31-2884 URL <http://homepage2.nifty.com/ea21towa/>